

かわむらこどもクリニック NEWS

Volume 4 No 12

4 1 号

平成8年12月 1日

発行 かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.ifnet.or.jp/kazu.k/>

外来で気付いたこと5

院長

今回は、外来で気付いたこと(5)として、最近気になったことを書いてみます。

よく「先生のどが赤いですか」と聞かれます。どが赤いというのはどんなことなのでしょう？どが赤くなる病気の代表は風邪です。風邪の中でも咽頭炎や扁桃炎で赤くなることが多いです。この場合は熱を伴い、大人ではのどの痛みを訴えます。ポリオの予防接種で、一度に100人以上の赤ちゃんを見ていると症状がなくても、のどの赤い子はいます。その場合にどが赤いからといって、元気で症状もない子の接種を中止するわけには行きません。熱があっても腸炎や肺炎の場合は、のどの赤みはありません。しかしお母さん達は、鼻水だけや下痢をして熱があるときも聞いてきます。どうしてそう思うのでしょうか？これには医師の責任もあるのかもしれません。小生はなるべくのどが赤いという言葉を使わないようにしています。明らかな咽頭炎や扁桃炎以外にはです。しかし昔から医師においても「のどが赤い」は決まり文句でした。「のどが赤い」といわれることで安心していたのかもしれませんが、同じような言葉に「のどが腫れている」というものもあります。のどが腫れるという言葉はいったいどが腫れることを言うのでしょうか。扁桃炎で扁桃が腫れることはあります。しかし扁桃というのは大きさには個人差があります。扁桃は赤ちゃんの時には小さく、次第に大きくなり小学校の高学年でもっとも大きくなり、大人になるにつれてまた小さくなります。「のどが腫れている」も決まり文句で、言われると納得していたのかもしれませんが、のどの赤さや扁桃の大きさにも個人差があります。色や大きさを覚えていなければ、本当は異常かどうかの区別は出来ません。しかしかかりつけの子供全員を覚えることは不可能です。のどの赤いことや腫れていることは、大きな問題

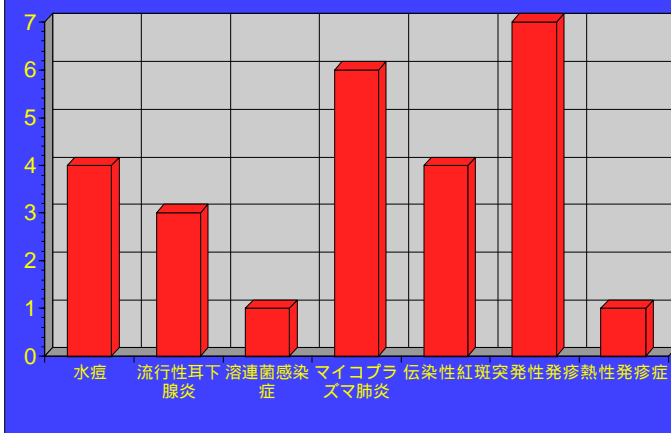
ではありません。もう少し医学に忠実に考えることも大切かもしれません。

もう一つ「お風呂の入ると赤い湿疹がたくさん出てきます」という言葉をよく聞きます。そういう子をよく見ると皮膚に薄い湿疹が見られます。どう考えたらいいのでしょうか。確かに冬になると皮膚が乾燥して、湿疹が出てることが多くなります。軽く治療が必要ない湿疹も、お風呂に入って血の巡りが良くなるとすっかり目立ってしまいます。話は変わりますが、ほっぺの赤い子も赤くない子もいます。それをお風呂に入って赤くなって色を比べる必要もないし、そのばかばかしさも皆さんはおわかりでしょう。評価は普通のとときにすればいいのです。わざわざ風呂に入って、赤くなるのを心配する必要はありません。

医学の色々な部分で誤解されているものがあります。少し医学というもの客観的に見る必要もあるようです。



11月の感染症の集計



今年は昨年と比べ、患者さんの数が少ないようです。特に流行している様子はありますが、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)やマイコプラズマ肺炎が少し多いようです。グラフには示しませんが、高い熱と口内炎で水分が取れなくなるヘルペス性歯肉口内炎が結構ありました。また冬になると多くなる、嘔吐下痢症の患者さんも少しづつ増えているようです。インフルエンザの患者が、市内で見られましたが、流行はまだのようです。東京辺りで一次増えたようですが、今年の流行はどうなるのでしょうか？

休日当番

12月15日(日)

年末年始休暇

12月29日(日)

～1月3日(金)

今年の日曜日との関係で、少し長くなります。御了承ください。



12月の
お知らせ

読者の広場

先月号でお知らせした千羽鶴御協力ありがとうございました。

200羽ほど集まりました。御協力を頂いた方に重ねてお礼を申し上げます。その子もその後比較的順調で退院の見通しがついたようです。

そのことに関して、宮城野区のYさんから投書を頂いたので紹介いたします。鶴も一緒に頂きました。一部省略しますが内容は次のようです。「いつも子どもがお世話になり、本当にありがとうございます。ですが、今回は少し先生へのいじわるを書かせていただきます。～子どもが肺炎になり紹介で入院しました。～結局まるまる半月、15日間も入院してしまいました。～先生が入院した子の様子を見に行くという話を聞くたびに、それはどんなにか嬉しいことだろうでも我が子の時はそれがありませんでした。先生の患者さんの中では、軽い方だったからでしょうか。ちょっぴり、かなしさを覚えます。ですから、先生が様子を見に来てくれる安心を、できるかぎり多くの方へ与えてください。お願い致します。病院に通いすぎるのは、嬉しいことではありませんが、具合の悪い時は喜んで行かせてください。～」貴重な投書ありがとうございます。思わずジーンとさせられてしまいました。小生が、入院患者さんの様子を見に行くことは、かかりつけの責任として入院先の先生とコミュニケーションを取り、お母さんたちを励ますためです。言い訳ではないのですが、病院に行ける時間には、限りがあります。入院先の都合などを考えると、ほとんどは木曜日の午後だけになってしまいます。週によって都合で行けないこともあって、必ず全員というわけにはいきません。もちろん差別はつけていないのです。重いから行って、軽いから行かないわけではありません。これを読んでいる方でも、病院でお会いした人もいます。70～80%ぐらいでしょうか？今の実情では、この程度が限度かなと考えています。中には、行ったのに外出や外泊で会えなかったということもありました。お母さんたちがどんな気持ち(行って迷惑ではないか?)でいるのかと考えることもありました。このことがどれだけ意味があるか、はかりかねていました。このような投書を頂き、今後も続けていく勇気が湧いてきました。本当にありがとうございました。



もう一つこの場を借りてお礼をしたいことがあります。私の赤ちゃん(主婦の友社発行)12月号の別冊赤ちゃんのお医者さん「読者ママがすすめる全国の小児科医リスト462」に、どなたかの推薦で「先生がやさしく何でも相談にのってくれる。待合室におもちゃや絵本がたくさんあり、ビデオも流れている。」と載ることができました。どなたかわかりませんが、ありがとうございました。こういうことを含め患者さんとのつながり無しでは、病院はやっていけません。

このコーナーをもっと充実していきたいと思っています。クリスマスデコレーションを澤田さんから頂きました。待合室に飾ってあります。ありがとうございました。電子掲示板で、絵の展覧会を始めました。ご覧ください。

「すこやかさん こんにちは」放送予定

皆さん御存知のように、院長は、教育委員会の家庭教育充実事業の「すこやかさん こんにちは」テレビ育児相談の部長をしています。今年も10月5日から始まりましたので、そのスケジュールをお知らせいたします。放送は、東北放送で午前10:00～10:30です。

上段はメインテーマ、下段はすこやか健康メモのテーマを示します。

- 12/14(土) おいしく 食べよう
インフルエンザ
- 1/19(土) お父さんの役割
グループ(喉頭炎)
- 1/25(土) あっ あぶない
腸重積
- 2/8(土) じゃれあいふれあいたっぷりと
歯の話
- 2/22(土) 働くお母さんたちへ
母乳をスムーズに

これからの院長の担当は、「あっ あぶない」です。興味のある方は、ご覧になってください。全部の内容及びテーマを院内電子掲示板で、お知らせしています。

お詫びとお知らせ

先月号で、ひよこクラブの担当を、12月号と掲載しました。しかし実際には、1月号の誤りでした。御迷惑をおかけした方もいると思いますが、お許しください。

最近の雑誌への掲載について

ひよこクラブ(ベネッセコーポレーション発行)1月号の「びよびよクリニック」のコーナーを今回担当することになりました。12月中旬発売です。興味のある方は、立ち読みしてみてください。(本屋さんごめんなさい)

すてきな奥さん(主婦と生活社)の1月号増刊「新春すてきな奥さん'97」で当院のホームページが「こんなホームページが主婦におすすめ」というコーナーで、写真入りで紹介されました。

Wonderful world women(日本電機株発行)のVol.6のCD-ROMに、当院のホームページが収録されています。インターネットにつなげなくても、CD-ROMが使えるれば体験できるようになっています。

編集後記

今年もう終わりです。今年一年何ができたでしょうか？雑誌に何度も載ったことで良しとしましょう。今回は最後ということ、文字が目一杯になりました。読みにくいですが、御勘弁を！来年は何を目指そうか考えているところです。取りあえず、よいお年を！！！！



目次に戻る

前の号

次の号